

令和5年度

さくらんぼ園だより

6・7月号



社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会

舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」 (TEL 64-5798・FAX62-9171)

「さくらんぼ園の療育」

療育を開始してから3か月が過ぎようとしています。新しく療育を開始したこどもたちも、少しずつ慣れてきています。

今回は療育の一場面を紹介します。

【活動が始まる前の様子】

「今から何をするのかが見て分かる」ようにスケジュールボードやタイムタイマーなどを用いて見通しがもてるようにしています。理解して動くということはとても大切です。

【活動の様子】

★スクーターボード

友だちといっしょに乗ったり、斜面をすべり下りたり…いろいろな方法で楽しめます。

何度も繰り返し遊ぶ中で、物にぶつからないように移動し、体の使い方や自分の体の大きさ、手や足の位置などを意識し、力加減のコツをつかむこともねらいのひとつです。



★小集団療育の様子

「パンやさんのおみせにならんだ、しなものでしょね〜♪」と、手遊びをみんなでしました。絵カードも見ながら、食べられるパンのときは、二回手をたたいて「あるある。」と答え、食べられないものときは、「ないない。」とリアクションを返しました。



【親子療育の様子】

親子が触れ合いながら遊ぶことで、お子さんの成長を確認できます。また、楽しい遊びを通して、こどもと同じ気持ちを味わっていただき、おうち遊びのバリエーションを豊かにしていただければと考えています。

★★わらべうた遊び「じぞうさん」★★

「わらべうた」は、こどもの生活から生まれた歌です。自分たちで、歌いながらできるので、いつでもどこでも楽しめる遊びです。「わらべうた遊び」は、大人がこどもの体を触りながらするため、



肌と肌の温もりを感じられる遊びの体験と言えます。

★★おもちゃ遊び★★

さくらんぼ園の遊びで、一番大切にしていることは『楽しむこと』です。おもちゃ遊びでは「あけて。」「ちょうだい。」「ありがとう。」「もう一回。」などの人とのやりとりも大切にしています。また、おもちゃを見たり、触ったり、操作することで、目や手指のさまざまな動きを経験することができます。

